



◆巻頭言

里山の重要性

浅見 聰

振り返ってみたら、2010年にこの会に入会して、早や10年になります。

あまり深く考えず、ただ、森・里山が整備されてきれいになるのが楽しくて作業に参加してきました。しかし、アホかと思われるかも知れませんが、最近次のことを新聞記事で知り、ちょっと驚きました。

○「瀬上の森」が、2015年環境省が公表した全国500ヶ所の『重要里地里山』に含まれている(舞岡公園～瀬上の森～円海山周辺)。

同省は保全を呼びかけてはいるが、政策や資金の裏付はなく、活動の多くはボランティアやNPO頼みが実情。

○里山の生物

絶滅危惧種の子ウ類の約40%近く、鳥類の約30%の種が確認されている。

これを読んで、改めて里山の生態系の重要性に気付かされました。ポーっとしていないで、しっかり意識を持って作業に当たらねばと反省しております。

いつ収束するか判らぬコロナ禍に充分対処しながら、そして体力と相談しながら里山に親しんで行きたいと思えます。

●令和2年9月・10月の活動予定

※連絡1：悪天候時（法的事案含）等での作業中止連絡は**当日の7時までに**メール連絡を行ないます。必ず確認をお願い致します。

※連絡2：コロナ禍終息対策として、**短縮作業で計画します**。11時の休憩時に**軽い活動食を摂って頂き昼食時間を設けず、13時終了とします**。

1) 9月13日(日) 9時半～13時

・集合場所：池の下倉庫

- ・活動内容：景観保全型落葉樹林を目指した保全作業
- ・集合時間：9時半（可能な方は9時をお願いします）
- ・作業内容：9時に集合出来た方での道具類の整備、目立
：中尾根散策路の補修作業
：いっしんどう作業エリアの林床整理（草刈り）、尾根道・大丸側
- ・持ち物：常備具（手ノコ、ナタ、剪定バサミ、手カマ）、飲料水、防虫剤、軽食、
【持参器具】救急箱、シート、作業旗、スコップ、刈払機、大鎌、カケヤ、麻紐

2) 9月27日(日) 9時半～13時

・集合場所：池の下倉庫

- ・活動内容：景観保全型落葉樹林を目指した保全作業
- ・集合時間：9時半（可能な方は9時をお願いします）
- ・作業内容：9時に集合出来た方での道具類の整備、目立
：道場丸作業エリアの林床整理（ササ刈り）
- ・持ち物：常備具（手ノコ、剪定バサミ、ナタ、手カマ）、飲料水、防虫剤、軽食
【持参器具】救急箱、シート、作業旗、スコップ、刈払機、大鎌、カケヤ、麻紐

3) 10月11日(日) 9時半～13時

・集合場所：池の下倉庫

- ・活動内容：景観保全型落葉樹林を目指した保全作業
- ・集合時間：9時半(可能な方は9時をお願いします)
- ・作業内容：9時に集合出来た方での道具類の整備、目立
：道場丸作業エリアの林床整理(ササ刈り)
- ・持ち物：常備具(手ノコ、剪定バサミ、ナタ、手カマ)、飲料水、防虫剤、軽食
【持参器具】救急箱、シート、作業旗、スコップ、刈払機、大鎌、カケヤ、麻紐

4) 10月25日(日) 9時半～13時

・集合場所：池の下倉庫

- ・活動内容：景観保全型落葉樹林を目指した保全作業
- ・集合時間：9時半(可能な方は9時をお願いします)
- ・作業内容：9時に集合出来た方での道具類の整備、目立
：いっしんどう作業エリアの林床整理(草刈り)、港南台側
- ・持ち物：常備具(手ノコ、ナタ、剪定バサミ、手カマ)、飲料水、防虫剤、軽食、
【持参器具】救急箱、シート、作業旗、スコップ、刈払機、大鎌、カケヤ、麻紐

(令和2年11月・12月号の原稿に関し、上記活動報告は竹内氏、巻頭言は渡邊氏、リレートークは長谷川氏です。原稿の締め切りは令和2年10月26日(月)枝村氏迄宜しくをお願いします)作業を欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【樹林地部会 活動日誌】

報告者 武内由美子

①令和2年7月5日(日)曇一時雨 臨時池の上広場草刈り

参加者 山上 渡邊 渡部 佐谷 竹内 長谷川 石渡 三島 小宅 高嶋 江里口 武内
計12名

- 先発隊5名で池の上広場の遊歩道の草刈り
- 雨が降り始めたので東屋で今後の活動計画の周知などの話し合い
- ☑☐コロナ禍により計画が大きく変更
- ☑☐7月、8月は早めに作業を始め短縮、体調をみて参加下さい。
- ☑☐来週はボラ塾受け入れ、道具の整備などのため9時集合
- ☑☐8月の救命救急講習会はなし。横浜市安全講習会は中止。



池の上広場、草刈後



池の上広場 全景



急な豪雨、池の下東屋にて打ち合わせ

②令和2年7月12日(日)晴時々曇り いっしんどう広場下草刈り

参加者: 山上 渡邊 渡部 竹内 伊藤 長谷川 石渡 三島 小宅 高嶋 枝村
小嶋 戸賀澤 茂木 浅見 武内 計16名

ボラ塾: 7名+中塚

○ラジオ体操の後いっしんどう広場迄登り、休憩を挟み全員で草刈り。
A2 下、広場横、トイレに続く階段横など広範囲になる。



トイレに向かう階段横草刈り



ボラ塾生を交え A2 下草刈り



同 右側

③令和 2 年7月 26 日(日)晴時々豪雨 光が丘自治会館植栽剪定

参加者 三島 山上 酒巻 高嶋 江里口 武内 小宅 伊藤 計 8 名

8 時着、即作業始め、降り始めた豪雨の為一時作業中断、直ぐに止む。10 時休憩を取り、片付けと上の通路に脚立運び、剪定とに分かれ作業、最後は皆で通路の除草を含め袋詰めと束ねて終了。11 時。



作業前の会館



上の通路 作業前



作業後



上の通路作業後



会館前に置かれた袋



上の通路の袋と 5 束(集積所に)

④令和2年 8 月 9 日(日)晴 中尾根草刈り及び納涼会

参加者 山上 佐谷 浅見 渡部 三島 小嶋 竹内 戸賀澤 茂木
星野 伊藤 小宅 武内 計 13 名

8:30~9:30 池の上広場の草刈りを渡部、三島両氏によりバインダー利用で刈取り済み。

9:30~11:20 小嶋、小宅、武内の 3 名による池の上広場の除草の始末、残りは中尾根に回り、バインダー 3 台フル稼働により草刈り。只蜂の巣が中尾根休憩所上で 2 箇所見つけ危険なため終了、下山。

道場丸にて会食打ち合わせ。(蜂に刺された山上氏から自然公園計画の提言の委託を受け皆で相談) 渡邊氏からの事前報告有り、茂木氏等の意見を踏まえ、トイレ、建屋等必須だがソバ打ち、薪ストーブの材料(樹林地部会にて供給可能)、新治や自然観察の森など参考に！等の意見あり。



中尾根に向かう作業前



中尾根休憩所上作業中



作業後

◆ リレートーク

「外出自粛とその後…三密を回避しよう」

この時期には、やはり、どうしても、新型コロナウイルスにまつわる話になってしまいます。私の所属する山岳会を引き合いに出して、書いてみます。9月号に掲載される頃には、「こんなことがあったね、懐かしい」と回顧しながら読んでいただける、そんな生活に戻っていますように。

4月7日に緊急事態宣言が出されて、県外移動自粛はもちろんのこと、外出自粛が要請された。

うちの山岳会でも登山自粛方針が出された。会員はみな、山に登りたい気持ちを抑えて、じっとがまんして自宅に籠っていたようだ。外出するとしても、近くの公園まで往復する散歩程度。私は、5月の中旬に、鎌倉アルプスから瀬上の森近く庄戸3丁目住宅街まで、登山ではないが、マスクを着けて単独ハイキングを敢行した。

宣言日から約1か月と20日ののち、5月25日に、東京都や神奈川県を対象とした宣言が解除された。

それを受けて待ちかねたように、軽薄な？ある会員は、一台の自家用車に4人同乗して西丹沢の登山口までアプローチする計画を立てた。私は、三密のうちの「密接」がクリアされていないとして反対した。ところが、なぜか、会として承認が下りた。その輩と3人の会員は、喜々として出かけて行ったと想像される。

6月19日に県外移動自粛が解除された。私は、その前、6月16日に単独で、マスクを着けて東丹沢の山に登った。山岳会としての方針は、「多人数6名以上でのグループ登山及び1テントに4人以上のテント泊の自粛」以外はすべて解除され、さっそく、北海道や四国の山に登る計画が出されていた。

外出や県外移動の自粛要請が解除されたとはいえ、たとえ4人グループでの行動でも1台の車に同乗するとか1テントに泊まることには、私は反対です。三密のうち「密接」をクリアできないから。

相手が犯罪者でもない限り、個人の行動を制限する権利は、誰にもありません。しかし、コロナが終息していない現状では、依然として三密をクリアする行動が求められているのは明らかです。

(7月4日 記: 野沢)

◆ 編集後記

コロナ禍である。県外をまたぐ移動は自粛と遠出の好きな主人は憐。県内ならと藤沢(駒寄)でのツミ(一番小さな猛禽類)の営巣に主人は何回か通った。暑い一日主人に付き合った。只ひたすら双眼鏡で見ている事3時間、母鳥が時々卵を動かしているのをじっと見ていた。私が行った翌日には孵ったと言う残念。

一服の清涼となればと記載した。 伊藤

